

## 『古今和歌六帖』の「萬葉歌人」一覽

池 原 陽 斉

およそ四千五百首をおさめる大部な類題和歌集である『古今和歌六帖』は、その四分の一ほどにあたる約一千百首を『萬葉集』所収歌（類似歌）が占めている。<sup>(1)</sup>完成は貞元元年（九七六）九月以降と推定される。<sup>(2)</sup>近い時代に編纂されたと思しき、まとまった数の萬葉歌を採取する歌集としては、ほかに勅撰集の『後撰和歌集』や『拾遺和歌集』、私撰集の『和漢朗詠集』、私家集の『人麿集』や『赤人集』、『家持集』などが存するが、これら諸歌集のなかでも、千を超える萬葉歌をおさめる『六帖』の価値はひとときわ大きい。

その『六帖』所収の萬葉歌の性格については、『萬葉集』から抜き出されたと見做される場合も多いが、萬葉歌と歌句の相違が著しいたも少なくないことから、伝誦歌が相当数混入しているとの見方もしめされている。<sup>(3)</sup>この是非は、十一世紀後半をさかのぼる『萬葉集』の伝本が現存しないこと、<sup>(4)</sup>伝本系統が決して多様とはいえないこと<sup>(5)</sup>などを考慮すると、平安時代中期における『萬葉集』伝来の実態を考えるに際して大きな問題といつてよい。

そして、この点を検討するにあたっては、歌句とともに『六帖』の作者名表記も看過できない材料といえる。『萬葉

集』にかぎらないが、採取元資料と『六帖』の作者名が一致するか否かは、両者の関係をあきらかにするにあたって重要な傍証となる可能性を持つ。

しかし、この作者名表記にも種々の問題がある。『萬葉集』や『古今和歌集』など、採取元と考えられる歌集と作者名が一致しない、漢字・かな表記が一定しない、作者名表記が勅撰集のようにうたの前に書かれるかとおもえば、『和漢朗詠集』のように後ろに書かれることもあり、はたまた「以上貫之」（第四帖・二四六三）、「以上七首つらゆき」（第六帖・四四三二）のような異例の書式も存する。あるいは「つらゆき」（第六帖・四〇三五）と作者名をしめした後で、「おなじ」を四度続ける（四〇三六～三九）こともあるといった具合で、規則性をみとめることが極めて困難となっている。少なくとも『六帖』の作者名表記は、一度に整然と記されたものではない可能性がたかい。<sup>7</sup>

そもそも『六帖』には、編纂段階では作者名が附されていなかった可能性も指摘されている。片桐洋一が『古今六帖』の作者名表記が成立当初からあったかどうか決し難い<sup>8</sup>と留保つきながら述べたのは、編者と作者名との関係を疑うもつとも早いものである<sup>9</sup>。ついで平井卓郎、田辺俊一郎も疑義を呈し、熊谷直春は作者名表記の揺れや、『六帖』の古筆切に作者名を缺くものがあることなどを根拠に、なかったと断じている。<sup>10</sup>

たしかに、十三世紀前半の書写と推定される伝坊門局筆切には、永青文庫本・桂宮本といった定家本（家長本）系統の写本には存する作者名表記が一切ない。『六帖』の最古写本は文祿四年（一五九五）書写の永青文庫本であり、他の本はすべて近世までくだるから、それよりもかなり古い年代に書写された写本の断簡に作者名が存在しないという事実は、『六帖』の作者名表記の変転を考えるにあたっては重要な意味を持つ。

だが、古筆切の中でも現存最古の十一世紀前半書写と推定される伝藤原行成筆切をはじめとして、伝慈円筆白砂切<sup>12</sup>（鎌倉時代初期）、伝慈円筆四半切<sup>13</sup>（鎌倉時代中後期）、伝民部卿局筆切（鎌倉時代中後期）、伝九条教家筆切（鎌倉時

代後期)などは、写本と対照すると異同こそ見られるものの、いずれも作者名を有しているのである。特定の切の書式のみを根拠に、編纂段階における作者名表記の有無を即断することはできない。

もちろん、前述のとおり『六帖』の作者名表記には不審な点が少なくないため、「あつた」と断言することもできないわけだが、その是非を決するためにも、まずは採取元と推定される歌集と対照し、作者名の問題点をこまかに検討することが必要であろう。本一覧は以上のような意図のもとに、『六帖』の作者名表記のうち、ひとまず範囲を『萬葉集』の歌人に絞って作成したものである。

本一覧にもとづく考察については続稿を期しているため、ここで細かく述べることは差し控えるが、『六帖』には、たとえばナンバー24の安都扉娘(『六帖』では安都扉娘女)、93の相伴四綱のように無名とよいつてよい萬葉歌人の名もみえている。編纂段階か増補段階かはともかく、『六帖』の作者名表記は『萬葉集』にもとづく可能性がたかいのではないだろうか。ほかにも指摘すべき点は多々あるが、いまは省略にしたがう。

#### 注

- (1) 『六帖』所収の萬葉歌(萬葉類歌)の数については、中西進編『古今六帖の萬葉歌』(武蔵野書院・一九六四)、渋谷虎雄編『古文叢書』所収万葉和歌集成 平安・鎌倉期(おうふう・一九八二)を参照した。
- (2) 後藤利雄「古今和歌六帖の編者と成立年代に就いて」『國語と國文學』第三十卷第五号・一九五三
- (3) 研究史については青木太朗「古今和歌六帖」『平安文学研究ハンドブック』和泉書院・二〇〇四)を参照。
- (4) 現存最古写本は十一世紀後半写の桂本。ただし巻四のみの零本。完本は十三世紀書写の西本願寺本までくだる。
- (5) 田中大士「長歌訓から見た万葉集の系統——平仮名訓本と片仮名訓本」『和歌文学研究』第八十九号・二〇〇四

- (6) 熊谷直春『古今和歌六帖の成立』、同『古今和歌六帖の作者名表記』(『古今集前後』武蔵野書房・二〇〇八、初出はいずれも二〇〇五)はこの点を問題とし、『六帖』の作者名が後補であることの傍証のひとつとする。しかし、本表のナンバー3、49などの備考にしましたとおり、定家本を祖本とする永青文庫本と桂宮本でも漢字・かなの表記は相違する場合があります、表記の揺れがあることは事実として、成立に直結させる熊谷の指摘は必ずしも適切でない。
- (7) 田辺俊一郎『古今和歌六帖』本文攷——作者名表記論断章(『中古文学』第四十号・一九八六)
- (8) 片桐洋一『後撰集』の本性(『古今和歌集以後』笠間書院・二〇〇〇、初出一九五六)
- (9) 平井卓郎『古今和歌六帖の研究』(明治書院・一九六四、パルトス社復刻版(一九九二)による)、田辺『古今和歌六帖』試論——作者名表記の一問題(『人文論叢』第二十二輯・一九八二)
- (10) 前掲(6)
- (11) 小松茂美『古筆学大成』第十六卷(講談社・一九九〇)所収。書写年代は所収書籍の推定による。
- (12) 前掲(11)
- (13) 前掲(11)、久曾神昇編『私撰集残簡集成』(汲古書院・一九九九)、国文学研究資料館編『古筆への誘い』(三弥井書店・二〇〇五)、田中登編『平成新修古筆資料集成』第四集(思文閣出版・二〇〇八)所収。
- (14) 藤井隆・田中登編『国文学古筆切入門』(和泉書院・一九八五)所収。
- (15) いずれも前掲(11)所収。

〔附記〕

本年三月に江富範子先生がご退職された。同じ学科に勤めることのできた期間はわずか一年と短かったが、専攻の時代を同じうする先達であり、種々ご指導ご鞭撻をいただいた。記して深謝申しあげると次第である。先生がご寄稿される本号に拙文を掲載できたこと、望外の喜びである。(本学専任講師)

〔凡例〕

一、本一覽は『古今和歌六帖』を「和歌&俳諧ライブラリー」（古典ライブラリー）所収の「新編国歌大観」本文（底本は桂宮本）、『萬葉集』を木下正俊『萬葉集 CD-ROM 版』（塙書房・二〇〇一）の本文にもとづき作成した。

一、萬葉歌人を作るとする六帖歌を基準に作成したため、対応する萬葉歌が存在しないこともある。その場合、『萬葉集』の欄は空白とした。

一、『六帖』については以下の画像データ・翻刻・影印・テキストを参照し、適宜必要な情報を補った。具体的な補足内容については「備考」を参照のこと。

・国文学研究資料館「新日本古典籍総合データベース」の『古今和歌六帖』（資料 ID : 100061415）

・宮内廳書陵部編『圖書寮叢刊 古今和歌六帖』上（養徳社・一九六七）

・永青文庫編『細川家永青文庫叢刊 古今和歌六帖』上・下（汲古書院・一九八二〜八三）

・小松茂美編『古筆学大成』第十六卷（講談社・一九九〇）

※所収の「伝藤原行成筆古今和歌六帖切」、「伝九条教家筆古今和歌六帖切」を参照した。

・古今和歌六帖輪読会『古今和歌六帖全注釈』一〜三（お茶の水女子大学附属図書館 [E-book サービス]）

・室城秀之『和歌文学大系 古今和歌六帖』上（明治書院・二〇一八）

一、『萬葉集』については佐竹昭広ほか編『校本萬葉集 新增補』（岩波書店・一九七九〜九五）、井手至・毛利正守編『新校注 萬葉集』（和泉書院・二〇〇八）を参照し、適宜必要な情報を補った。

一、『六帖』の作者名は本文の表記のとおりに提示した。

一、『萬葉集』の作者名は、姓名など通行の表記で提示し、『萬葉集』の表記どおりとはしなかった。同集の表記が一樣でないための措置である。ただし、『萬葉集』の表記が『六帖』の作者名を判断するにあたって参考になると判断した場合には、題詞・左注などを備考にしめた。

一、「備考」に示めた歌集の略記号は以下のとおり。

・萬……………萬葉集　・六……………古今和歌六帖　・人……………人麿集　・赤……………赤人集　・家……………家持集  
・歌……………歌経標式　・古……………古今和歌集　・後……………後撰和歌集　・拾……………拾遺和歌集　・新……………新撰和歌  
・和……………和漢朗詠集

歌番号は原則「和歌&俳諧ライブラリー」(古典ライブラリー)所収の「新編国歌大観」による(『萬葉集』のみ旧番号)。略記せぬ歌集も同様である。ただし、『歌経標式』と『人麿集』はつぎの文献に依拠した。

・歌経標式……………沖森卓也ほか『歌経標式　影印と注釈』(おうふう・二〇〇八)

・人麿集……………萬葉歌については歌番号を記さなかった。池原・藤原洋治・朝比奈英夫編『萬葉集』及び『人麿集』五系統歌番号対校表——附・大東急記念文庫蔵「人丸集」翻刻」(『古代中世文学論考』第三十四集・新典社・二〇一七)を参照。非萬葉歌については、一類本は「新編国歌大観」、二〜四類本は「新編私家集大成」、五類本は前掲池原・藤田・朝比奈論文にもとづき、番号を提示した。なお、一〜五類本(一覧ではI〜V)の伝本系統の分類は藤田「人麿集」(『和歌文学大辞典』古典ライブラリー)による。

一、『赤人集』の排列は『萬葉集』巻十の前半(一八一〜二〇九二)とほぼ一致するので、この範囲に関しては、備考に『赤人集』所収である旨を逐一注記しなかった。巻十前半部以外の相当歌は備考に示めた。『赤人集』所収の『萬葉集』巻十歌については拙稿「萬葉集巻十および赤人集三系統対校表」(『萬葉集訓読の資料と方法』笠間書院・二〇一六、初出二〇一三)を参照のこと。

六帖			萬葉集			備考
No.	巻	番号	作者名	巻	番号	作者名
1	1	6	大伴坂上郎女	8	1433	大伴坂上郎女
2	1	7	志貴王子 かみみの王女とも	8	1418	志貴皇子
3	1	14	山邊赤人	10	1843	
4	1	21	あか人	10	1832	
5	1	23	あか人	8	1441	大伴家持
6	1	24	やかもち	19	4290	大伴家持
7	1	36	大伴やかもち	20	4493	大伴家持
8	1	43	あか人	8	1427	山部赤人
9	1	50	やかもち	20	4494	大伴家持
10	1	60	やかもち	19	4153	大伴家持
11	1	107	人丸 或本	10	1995	
12	1	117	八代女王	4	626	八代女王
13	1	134	人丸	10	2013	人麻呂歌集
14	1	136	人丸	10	2055	
15	1	144	人丸	10	2001	人麻呂歌集
16	1	146	ひとまろ	10	2022	人麻呂歌集
17	1	163	ゆけのわう ゆはら大きみ或本	8	1544	湯原王
18	1	198	人丸			人Ⅱ 158・Ⅲ 188・Ⅳ 79
19	1	232	やかもち	20	4490	大伴家持
20	1	251	人まろ	7	1068	人麻呂歌集
21	1	334	忌部首黒麿 或本をとくろ	7	1079	
22	1	342	はしうとのおほそら	8	1763	沙弥女王

萬 1419 の作者が鏡女王  
永青文庫本「山邊あか人」／人Ⅱ・Ⅲ／家 2／拾 3、作者は赤人／和 77、作者は人麻呂  
人Ⅲ  
6 24 作者名「やかもち」／後 34／拾 11、作者は家持  
萬は巻末尾に作者名を一括表示  
人Ⅱ・Ⅴ／赤 354／新 23／和 36、作者は赤人  
萬は巻末尾に作者名を一括表示／六、萬と同種の詞書有  
人Ⅰ～Ⅲ／拾 825  
永青文庫本「八代女王」。ただし「女王」に語順を入れ替える旨の記号あり  
萬 2033 左注「右柿本朝臣人麻呂歌集出」／人Ⅲ  
人Ⅰ・Ⅱ／後 239／拾 144、作者は人麻呂／和 218、作者は人麻呂  
萬 2033 左注「右柿本朝臣人麻呂歌集出」／人Ⅲ  
萬 2033 左注「右柿本朝臣人麻呂歌集出」／人Ⅲ  
拾 147、作者は湯原王  
人Ⅱ 158・Ⅲ 188・Ⅳ 79  
永青文庫本「人丸」／人Ⅰ～Ⅴ／拾 488、作者は人麻呂  
人Ⅱ・Ⅳ  
萬左注「右一首間人宿禰大浦歌中現見但末一句相換亦作歌兩主不致正指因以累載」。萬 290 に間入大浦の小異歌あり

六帖			萬葉集			備考
No.	巻	番号	作者名	巻	番号	作者名
23	1	343	ゆけのわう	6	985	湯原王
24	1	346	安郡屎娘女	4	710	安郡屎娘子
25	1	347	あへのむしまろ	6	980	安倍虫麻呂
26	1	351	坂上らう女	6	993	大伴坂上郎女
27	1	352	やかもち	6	994	大伴家持
28	1	356	いへのをとくろまる	7	1073	六の作者、忌部皆黒麿か／人II・IV
29	1	358	あか人	10	1874	人III
30	1	364	大宅娘女	10	2300	人I～V／拾795、作者は人麻呂
31	1	371	大宅娘女	4	709	豊前国娘子大宅女
32	1	425	人まろ	10	2350	人I・II・IV・V／家172
33	1	443	おほどものかたみ よしみねのむねきたイ	4	664	拾765、作者は大伴形見／新664／継色紙20
34	1	453	あか人	10	1877	人III
35	1	491	人まろイ	10	2235	萬2234左注「右一首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人I～III
36	1	495	人まろ	10	2094	萬2095左注「右二首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人III
37	1	518	人まろ 或本	3	242	萬244 或本歌左注「右一首柿本朝臣人麻呂之歌集出」。242～43は同一歌群
38	1	519	人丸			人III 677・IV 102
39	1	520	おなじ人(人丸)	10	1923	人IV
40	1	533	人まろ			人II 206・III 212・IV 17
41	1	534	おなじ(人まろ)			人IV 55に類歌
42	1	545	やかもち	10	2173	人II
43	1	555	やかもち	10	2168	人I・II
44	1	589	おほどもの王子	2	107	大津皇子
45	1	590	石川女郎	2	108	石川郎女
46	1	598	ひとまろ	7	1241	永青文庫本「人丸」／人II～IV
47	1	632	人まろ	10	1892	人麻呂歌集

No.	六帖		萬葉集		備考
	巻	番号	巻	番号	
48	1	678	10	2132	六の作者、忌部首黒磨か／人Ⅰ・Ⅱ／家249
49	1	693			永青文庫本「人丸」／古621左注「この歌はある人のいはく柿本人麿か歌なり」
50	1	719	20	4454	萬4456左注「右二首左大臣読之云尔左大臣是葛城王後賜橘姓也」。
51	1	739	8	1426	4454～56は同一歌群／家152
52	2	831	7	1332	人Ⅱ／後22／赤3／家11／和94、作者は赤人
53	2	832	10	2239	萬2243左注「右柿本朝臣人麻呂歌集出」／人Ⅱ・Ⅲ
54	2	835	3	291	六、前歌の作者「ふゆのことぬし」。
55	2	836			催馬柴37に類似の歌謡あり
56	2	837	7	1097	永青文庫本「いしかはのらう女」／人Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ／拾818、作者は人麻呂
57	2	841	3	242	萬244或本歌左注「右一首柿本朝臣人麻呂之歌集出」。242～43は同一歌群
58	2	849			家248
59	2	850	7	1140	元永本古今集にあり。作者は猿丸大夫（国歌大観番号408の後）
60	2	859	3	279	
61	2	865			古382、作者は野恒
62	2	872	9	1708	萬1709左注「右柿本朝臣人麻呂之歌集所出」
63	2	909	3	321	萬、前後の歌群の作者は赤人。虫麻呂の名は左注に見える
64	2	921	8	1543	新40
65	2	922	3	374	
66	2	932	4	502	人Ⅰ～Ⅳ
67	2	946	10	2148	人Ⅰ～Ⅲ
68	2	956	3	267	永青文庫本「忠貴皇子」
69	2	1000			
70	2	1036	8	1602	
71	2	1048	9	1730	

		六帖		萬葉集		備考	
No.	巻 番号	作者名	巻 番号	作者名			
72	2 1052	おほほとものらう女			永青文庫本「おほとものら女」。古 209に類歌		
73	2 1060	いつのおとくろまる			六の作者、忌部皆黒麿か/古 253に類歌/家 233		
74	2 1069	やかもち	13 3287				
75	2 1073	人まろ	10 2309		人Ⅰ～Ⅴ/拾 1135		
76	2 1111	なつの人まろ	9 1710	柿本人麻呂	六「なつの人」は題「なつの人」の混入/萬 1711 左注「右二首或云柿本朝臣人麻呂作」/人Ⅰ～Ⅲ・Ⅴ/拾 1123、作者は入麻呂		
77	2 1116	いはひめのきさき	2 88	磐姫皇后	萬題詞「但馬皇女在高市皇子宮時思德禰皇子御作歌一首」		
78	2 1121	ほつみのわうし	2 114	但馬皇女	六、伝藤原行成筆切「天地天皇の御歌」。歌の後にあり/後 302「天智天皇御製」/萬 2178に類歌		
79	2 1129	天地天皇御			六、伝藤原行成筆切「人丸」。歌の後にあり/古 208		
80	2 1131	人まろ			人Ⅰ～Ⅳ		
81	2 1141	ひとまろ	4 502	柿本人麻呂			
82	2 1162	やかもち	20 4320	大伴家持			
83	2 1166	きのいひまろ	19 4257	船王	萬題詞「十月廿二日於左大辨紀飯麻呂朝臣家宴歌三首」左注「右一首治部卿船王傳誦之久述京都時歌未詳作主也」/六の題「左大弁」		
84	2 1182	やかもち	19 4148	大伴家持	萬は卷末尾に作者名を一括表示		
85	2 1190	やかもち	4 775	大伴家持			
86	2 1192	さみかうた	8 1558	沙弥尼	萬 1559 左注に「右二首沙弥尼等」あり/家 125/和 228に類歌、作者は丹比国人		
87	2 1200	やかもち					
88	2 1222	山のうへのをくら	8 1537	山上徳良	永青文庫本「山のうへのをくら」/六の次歌も萬の徳良歌(1538)		
89	2 1226	うみの上女わう	4 531	海上王	永青文庫本「うみのうへの女わう」。「う～」の右に「上」あり/萬異同あり。「海上女王」とも		
90	2 1227	左大臣たちはなのあそむ	19 4270	橘諸兄	萬左注「右一首左大臣橘卿」		
91	2 1228	右大弁やつか山	19 4271	藤原八束	萬左注「右一首右大弁藤原八束朝臣」		
92	2 1233	大ともの大納言やす丸	19 4261		萬 4260 左注「右一首大將軍贈右大臣大伴卿作」		
93	2 1237	おほとものよつな	3 330	大伴四綱	家 45		
94	2 1243	大きいのそちをの	3 328	小野老	萬題詞「大宰少貳小野老朝臣」		

六帖			萬葉集			備考
No.	巻 番号	作者名	巻 番号	作者名		
95	2 1247	おとまる	20 4462	大伴家持	「をとくろ」か。No.21 参照／萬の作者認定は伝本によって相違あり	
96	2 1248	ひとまる	11 2382	人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅱ～Ⅳ	
97	2 1252	人まろ	13 3234			
98	2 1254	中納言いしかはのとしなり	19 4274	石川年足	萬左注 「右一宮式部卿石川年足朝臣」／年足は天平勝宝9年(757)に中納言。萬葉歌は天平勝宝4年の作	
99	2 1255	人まろ	12 2425	人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅱ～Ⅴ／拾 1243、作者は人麻呂	
100	2 1267	木の女わう			紀皇女か	
101	2 1276	ひとまる	2 132	柿本人麻呂	人Ⅲ	
102	2 1282	人まろ	9 1711	柿本人麻呂	萬 1711 左注 「右二首或云柿本朝臣人麻呂作」／人Ⅲ	
103	2 1298	きよむらのみかと	2 103	天皇(天武天皇)		
104	2 1299	いしかはのひろなり	4 696	石川広成		
105	2 1327	人まろ	12 2405	人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅲ	
106	2 1334	きのわう女	11 2799		永青文庫本「きのらう女」	
107	2 1335	人まろ	11 2551		萬 2947 に類歌／人Ⅱ・Ⅳ	
108	2 1340	やかもち			古 1079	
109	2 1353	やかもち	4 778	大伴家持		
110	2 1379	ぬかたのみこ	4 488	額田王	萬 1606 に重載。作者は額田王／家 90	
111	2 1407	いしかはのひめ	2 129	石川女郎		
112	2 1409	やかもち	4 764	大伴家持		
113	2 1411	いへのおとくろまる	12 2991		六の作者、忌部首黒麿か／人Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ／古仮名序／拾 895、作者は人麻呂	
114	2 1417	やかもち	11 2627			
115	2 1421	ひろかほの女わう	4 694	広河女王		
116	2 1425	かさのかみむら	3 365	笠金村		
117	2 1429	ひとまる	7 1271	人麻呂歌集		
118	2 1439	かきの女わう	4 607	笠女郎	人Ⅰ～Ⅲ／拾 910、作者は人麻呂	

			六帖		萬葉集			
No.	巻	番号	作者名	巻	番号	作者名	備考	
119	3	1467	さかの姫女 イ	8	1451	笈女郎		
120	3	1470	大女らうのこ	4	711	丹波大女娘子		
121	3	1491	ゆはらのおほきみ	3	375	湯原王		
122	3	1492	大どものさかのうへのらう女	4	726	大伴坂上郡女	永青文庫本「大どもの坂上のらう女」	
123	3	1503	さかのうへのらう女 イ	4	725	大伴坂上郡女	永青文庫本「さかのうへのらう女」	
124	3	1506	やかもち	19	4158	大伴家持	萬は巻末尾に作者名を一括表示／六の次歌、次々歌も萬の家持歌(4190、4191)	
125	3	1516	たかやすの大君	4	625	高安王		
126	3	1645	人丸	3	264	柿本人麻呂	永青文庫本「人まろ」／人1～N／新301	
127	3	1680	あか人	3	378	山部赤人		
128	3	1709	かさのかなむら	6	908	笠金村	六の次歌も萬の金村歌(909)	
129	3	1741	やかもち	4	715	大伴家持		
130	3	1743	おおどものやすみ	4	699	大伴豫兒		
131	3	1774	なかのいきまろ	3	238	長意吉麻呂		
132	3	1782	やまくちの女わう	4	617	山口女王		
133	3	1796	山くちの女らう				永青文庫本「山くちの女わう」／新古今和歌集 1379、作者は山口女王。新古では萬の山口女王歌(617)と同歌群	
134	3	1805	人まろ ある本	7	1401			
135	3	1809	たかふちのわうし	9	1718	高市	萬の作者、高市黒人か	
136	3	1811	ひとまろ	9	1784	角麻呂	萬 1783 左注「右二首柿本朝臣人麻呂之歌中出」	
137	3	1813	つのまろ	3	294	角麻呂	秋萩帖 11 に類歌	
138	3	1817	たかちのくろまろ	3	272	高市黒人	古 1073	
139	3	1818	人まろ				古 409 左注「このうたはある人のいはく柿本人麿か歌なり」／新 341／人 I 217・II 213・III 614	
140	3	1819	さみませい				六の次々歌は萬葉歌(351)。作者は沙弥満誓	
141	3	1845	あか人	3	363	山部赤人	萬は或本歌	
142	3	1857	ゆけのわうし	2	121	弓削皇子		

六帖			萬葉集			備考
No.	巻 番号	作者名	巻 番号	作者名		
143	3 1858	人まろ	11 2482	人麻呂歌集	萬 2516 左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅰ～Ⅴ／拾 640、作者は人麻呂	
144	3 1893	人丸 人本	1 40	柿本人麻呂	人Ⅰ～Ⅴ／拾 493、作者は人麻呂	
145	3 1897	さかのうへのらう女	6 964	大伴坂上郎女	拾 1245、作者は大伴坂上郎女	
146	3 1899	人まろ	7 1147		人Ⅱ・Ⅳ	
147	3 1923	人まろ	9 1710	柿本人麻呂	萬 1711 左注「右二首或云柿本朝臣人麻呂作」／人Ⅰ～Ⅲ・Ⅴ／拾 1123、作者は人麻呂	
148	3 1926	あか人	6 1001	山部赤人		
149	3 1934	人まろ	4 496	柿本人麻呂	人Ⅰ～Ⅴ／拾 668、作者は人麻呂	
150	3 1949	人まろ	7 1150		人Ⅱ・Ⅳ	
151	3 1964	たなひのせた人 たちまの命婦 人	9 1726	丹比真人	萬、丹比某かは不明	
152	3 1970	いじかばのおほきみ かはらの左大臣 人	3 247	石川大夫	萬左注で石川宮麻呂か石川吉美かと作者を推定	
153	4 1981	オホトモノモノヨ 人	4 560	大伴百代	人Ⅲ／拾 685、作者は大伴百世	
154	4 1982	さかのうへの大娘 或本	4 738	大伴家持	萬題詞は「又家持和坂上大嬢歌二首」	
155	4 1988	かさのらう女 或本	4 596	笠女郎	拾 889／新 232	
156	4 1990	カサノニラウ	11 2371	人麻呂歌集	萬 2516 左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／六の前々歌の作者は「かさのらう女 或本」／六の作者名表記は歌の後にあり／人Ⅲ	
157	4 1997	人丸 或本	11 2370	人麻呂歌集	萬 2516 左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅰ～Ⅲ・Ⅴ／拾 937、作者は人麻呂	
158	4 2001	かさのらう女 或本 カサノニヨラウ 人	4 605	笠女郎	六の前歌も萬の笠女郎歌 (595)	
159	4 2002	なかとみのらう女	4 678	中臣女郎		
160	4 2003	やかもち 或本	4 748	大伴家持	六の 2004、06、07、08 は萬の家持歌 (750、51、53、55)	
161	4 2007	ヤカメチ 人	4 753	大伴家持	六の作者名表記は歌の後にあり	
162	4 2010	カヘシ 人	11 2539 14 3470	人麻呂歌集	六の前歌、萬 3271。題詞「反歌」／人Ⅲ	

			六帖		萬葉集		備考	
No.	巻	番号	作者名	巻	番号	作者名		
163	4	2017	かさのらう女 ある本	4	2390	人麻呂歌集	萬 603 (作者は笠女郎) の類歌／人 I ~ V / 拾 935. 作者は人麻呂	
164	4	2028	とねりのわうし 或本	2	117	舎人皇子	萬の作者未詳歌／人 II・IV	
165	4	2038	よみ人しらす ある本	11	2812			
166	4	2060	ふちはらのうかふのえう ある本	9	1729	藤原宇台	萬題詞「宇台卿歌三首」／六「えう」の右に「卿イ」あり	
167	4	2062	さかのうへのらう女 ある本				六の次々歌は萬葉歌 (359)。作者は笠女郎	
168	4	2064	さかのらう女 カサノニヨラウ	3	396	笠女郎	永青文庫本は「カサノニヨラウ」を歌の後に書く	
169	4	2072	カサノニヨラウ イ	4	602	笠女郎	永青文庫本は作者を歌の後に書く	
170	4	2073	かさの女らう やかもちども ある本	4	752	大伴家持		
171	4	2161	人丸	11	2497	人麻呂歌集	萬 2516 左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人 III	
172	4	2168	田部忌寸櫛子	4	494	田部櫛子	萬題詞「田部忌寸櫛子任大宰時歌四首」	
173	4	2321	人丸	9	1683	人麻呂歌集	萬 1709 左注「右柿本朝臣人麻呂之歌集所出」	
174	4	2326	人まろ	7	1118	人麻呂歌集	萬 1119 左注「右二首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人 I ~ III / 拾 491. 作者は人麻呂	
175	4	2363	きのらう女				萬 544 に類歌 (作者は笠金村)	
176	4	2364	人まろ 三つ	2	133	柿本人麻呂	六の次歌も萬の人麻呂歌 (137)。／次々歌も萬葉歌 (140)。題詞は「柿本朝臣人麻呂妻依羅羅娘子与人麻呂相別歌一首」／人 I ~ IV	
177	4	2389	人丸	13	3236			
178	4	2409	ゆげいのおほきみ ある本	4	634	娘子	萬では湯原王との贈答歌群 (631~641)	
179	4	2410	ありまのわうし 或本	2	142	有間皇子		
180	4	2446	人丸	2	222	柿本人麻呂	六の次歌、次々歌も萬の人麻呂歌 (223, 212) / 拾 1316. 作者は人麻呂／人 I・III・IV	
181	4	2452	或本 人丸	2	197	柿本人麻呂	六の作者名表記は歌の上により／人 I ~ V / 拾 496. 作者は人麻呂	
182	4	2500	かさのかなむら	4	546	笠金村		
183	4	2501	山のへのあか人	4	317	山部赤人		
184	4	2502	あか人	4	324	山部赤人		

六帖			萬葉集		備考
No.	巻 番号	作者名	巻	番号	作者名
185	5 2528	なかとみの女郎	4	677	中臣女郎
186	5 2549	人まろ	4	501	柿本人麻呂
187	5 2575	人まろ			
188	5 2583	人丸	11	2461	人麻呂歌集
189	5 2584	おほとものさかめの上の郎女	4	661	大伴坂上郎女
190	5 2599	やかもち	3	414	大伴家持
191	5 2600	おほともするか丸	3	402	大伴駿河麻呂
192	5 2601	するか丸	3	400	大伴駿河麻呂
193	5 2603	やかもち	7	1347	
194	5 2609	やかもち	20	4457	大伴家持
195	5 2610	みしまの王女	2	115	但馬皇女
196	5 2615	なかとみの女郎	11	2779	
197	5 2620	あへの女郎	4	505	安倍女郎
198	5 2626	山くちの女王	4	614	山口女王
199	5 2628	ひとまろ			
200	5 2644	人丸	11	2382	人麻呂歌集
201	5 2652	人丸	11	2432	人麻呂歌集
202	5 2684	ほつみの王子	2	116	但馬皇女
203	5 2685	人まろ			
204	5 2686	やかもち	17	3935	大伴家持
205	5 2687	人丸			
206	5 2688	ふちはらのやつか	8	1570	藤原八束
207	5 2694	人まろ			
208	5 2695	大伴さかの上如女	8	1484	大伴坂上郎女
209	5 2696	かさのかなむら	4	575	大伴旅人

人Ⅲ／拾1210、作者は人麻呂  
 萬2516左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅰ・Ⅲ・Ⅴ  
 人Ⅱ364・Ⅲ504・Ⅳ31  
 萬2516左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅱ～Ⅳ  
 萬2516左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」人Ⅰ・Ⅲ  
 萬題詞「但馬皇女在高市皇子宮時竊接穗積皇子事既形而御作歌一首」  
 人Ⅲ266・Ⅳ41  
 萬2267に類歌（作者未詳）  
 萬2816に類歌（作者未詳）／人Ⅱ368・Ⅲ311  
 拾120、作者は大伴坂上郎女

六帖			萬葉集			備考
No.	巻 番号	作者名	巻 番号	作者名		
210	5 2698	人まろ				
211	5 2703	人まろ	9 1693	人麻呂歌集	人Ⅱ 381・Ⅳ 553・Ⅳ 86	
212	5 2709	きの王女	3 390	紀皇女	萬 1709 左注「右柿本朝臣人麻呂之歌集所出」	
213	5 2718	ゆはらの大君	3 377	湯原王		
214	5 2722	あへのむしまろ	4 665	安倍虫麻呂		
215	5 2741	たかたの女王	4 540	高田女王		
216	5 2750	人丸	11 2391	人麻呂歌集	萬 2516 左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅰ・Ⅲ・Ⅴ	
217	5 2752	ひとまろ	9 1762	柿本人麻呂	萬左注「右件歌或云柿本朝臣人麻呂作」／人Ⅲ	
218	5 2753	ゆはらの大君	4 638	湯原王		
219	5 2756	人丸	11 2381	人麻呂歌集	萬 2516 左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅱ～Ⅴ	
220	5 2762	人丸			人Ⅱ 233・Ⅲ 290・Ⅳ 18	
221	5 2765	いしかはの女王	4 518	石川郎女		
222	5 2766	いけのうへの大君	4 623	池辺王		
223	5 2773	人丸	11 2583		人Ⅰ～Ⅴ／拾 744、作者は人麻呂	
224	5 2776	人丸			人Ⅱ 522・Ⅲ 555・Ⅳ 27	
225	5 2781	おほともの郎女	4 535	安貴王	六 2780 (注萬葉歌 (590)、題詞「等女郎贈大伴宿禰家持歌廿四首」(587～610)／六 2778 是萬葉歌 (525)。作者は大伴郎女	
226	5 2788	やかもち	17 3981	大伴家持	萬 3982 左注「右三月廿日夜裏忽守起戀情作大伴宿禰家持」	
227	5 2789	いそのかみのまちの御	3 287	石上卿	萬、石上某かは不明	
228	5 2790	人丸			人Ⅱ 234・Ⅲ 439・Ⅳ 33	
229	5 2792	あへのむし丸	8 1577	安倍虫麻呂	萬 1578 左注「右二首阿倍朝臣虫麻呂」	
230	5 2797	やかもち	8 1596	大伴家持	家 96	
231	5 2834	おほともの郎女	4 527	大伴郎女		
232	5 2848	きの女郎	8 1452	紀女郎		
233	5 2855	さくらあめの大君	8 1614	桜井王		

六帖			萬葉集			備考
No.	巻	番号	巻	番号	作者名	
234	5	2877	10	2243	人麻呂歌集	萬左注「右柿本朝臣人麻呂之歌集出」／六の作者名表記は歌の上にあり／人Ⅱ～Ⅳ／家128
235	5	2892	4	624	天皇(聖武天皇)	
236	5	2900	2	141	有間皇子	
237	5	2901	2	143	長意吉麻呂	
238	5	2902	2	146	人麻呂歌集	人Ⅲ
239	5	2905	4	498	柿本人麻呂	人Ⅲ
240	5	2923	4	650	大伴三依	
241	5	2925	10	1895	人麻呂歌集	萬1896左注「右柿本朝臣人麻呂歌集出」／人Ⅲ
242	5	2926	11	2430	人麻呂歌集	萬2516左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅲ
243	5	2936	11	2428	人麻呂歌集	萬2516左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅲ
244	5	2937	4	699	大伴豫見	
245	5	2954	4	595	笠女郎	六の次歌も萬の笠女郎歌(587)／六の作者は「あへのやすとき」
246	5	2958	11	2648		六の次歌は萬の人麻呂歌集歌(2416)／人Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ／歌13(上句のみ)、作者は紀未在判事／拾990、作者は人麻呂
247	5	2972	4	565	賀茂女王	
248	5	2982	4	517	大伴安麻呂	萬の題詞は「大納言兼大將軍大伴御歌一首」／人Ⅳ
249	5	2986				
250	5	2988	4	765	大伴家持	
251	5	2997	4	742	大伴家持	
252	5	3003	2	122	弓削皇子	
253	5	3006	4	598	笠女郎	
254	5	3007	2	98	石川郎女	
255	5	3017	11	2602		六、伝九条教家筆切に作者名あり／人Ⅳ
256	5	3030				人Ⅱ519・Ⅲ381・Ⅳ29
257	5	3035				古620。次歌左注「このうたはある人のいはく柿本人麿か歌なり」
258	5	3036				人Ⅱ10・Ⅲ33・Ⅳ23

			六帖		萬葉集		備考	
No.	巻	番号	作者名	巻	番号	作者名		
259	5	3039	人丸	11	2478	人麻呂歌集	萬 2516 左注	「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅲ
260	5	3040	人丸	11	2395	人麻呂歌集	萬 2516 左注	「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅱ～Ⅳ
261	5	3042	あか人 きの女郎とも	10	1822		人Ⅱ～Ⅳ／拾 819、作者は人麻呂	
262	5	3049	人丸	11	2513	人麻呂歌集	萬 2516 左注	「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅰ～Ⅴ／拾 826、作者は人麻呂
263	5	3061	あめのみかと	11	2710		古墨酒歌に類歌 (1108)。左注「この歌ある人あめのみかとのあぶみのうねめにたまへると」／元永本古今集は六と歌句同じ	
264	5	3062	きの女郎	4	731	大伴坂上大嬢		
265	5	3063	かみみの王女	2	93	鏡王女		
266	5	3082	やかもち	4	718	大伴家持		
267	5	3088	人丸	11	2600		人Ⅱ・Ⅳ	
268	5	3091	ひとまろ				人Ⅲ 496・Ⅳ 56	
269	5	3100	たかたの女王	4	539	高田女王		
270	5	3101	かきの女郎					
271	5	3102	おなし人 (かきの女郎)	11	2465	人麻呂歌集	萬 2516 左注	「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／六の次歌は萬葉歌 (656)。作者は大伴坂上郎女／夫木抄は出典六、作者は坂上郎女／人Ⅰ～Ⅴ／拾 845、作者は人麻呂
272	5	3120	かきの女郎	4	600	笠女郎		
273	5	3127	たかたの女王	4	541	高田女王		
274	5	3132	かきの女郎	4	587	笠女郎		
275	5	3147	かきの女郎	4	591	笠女郎		
276	5	3153	ゆはらの大君	3	376	湯原王		
277	5	3162	さかの上の大姫	8	1624	坂上大嬢		
278	5	3163	やかもち	8	1625	大伴家持		
279	5	3167	人丸				萬 87、89 に類歌 (作者は磐姫皇后。89 は或本歌)／人Ⅱ 374	
280	5	3182	人丸	11	2500	人麻呂歌集	萬 2516 左注	「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅱ～Ⅳ

六帖			萬葉集		備考
No.	巻 番号	作者名	巻 番号	作者名	
281	5 3184	おほとものするか丸	4 409	大伴駿河麻呂	
282	5 3190	文武天皇	9 1665	岡本天皇 (舒明天皇)	萬 1667 題詞 「大寶元年辛丑冬十月太上天皇大行天皇幸紀伊國時歌十三首」。大行天皇は文武天皇をさす
283	5 3196	人丸	7 1301	人麻呂歌集	萬 1310 左注 「右十五首柿本朝臣人麻呂之歌集出」 / 八三・IV
284	5 3197	人丸	7 1302	人麻呂歌集	萬 1310 左注 「右十五首柿本朝臣人麻呂之歌集出」 / 八二~IV
285	5 3208	きの女郎	4 763	紀女郎	
286	5 3221	さかのうへの郎女	4 673	大伴坂上郎女	
287	5 3222	さかのうへの郎女	11 2633		萬 2634 左注 「右一首上見柿本朝臣人麻呂之歌中也」 / 八V
288	5 3232	するかのうねへ	4 507	駿河采女	
289	5 3236	人丸	11 2549		八二・IV
290	5 3252	人丸	11 2547		八V
291	5 3279	人丸	11 2411	人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」 / 八三
292	5 3316	丸卿	7 1195	藤原卿	萬左注 「右七首者藤原卿作」。「藤原卿」を藤原麻呂と判断したか
293	5 3336	人丸	11 2429	人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」 / 八三
294	5 3344	人丸			八二 385・III 443・IV 105 に類歌
295	5 3353	人丸	9 1789	笠金村	
296	5 3361	やかもち	11 2628		八V
297	5 3416	きの女郎	11 2640		八I・II・IV・V / 拾 1196、作者は人麻呂
298	5 3421	人丸			八II 361・IV 26
299	5 3425	人丸			八II 380・III 588・IV 83
300	5 3436	かきの女郎	4 604	笠女郎	
301	5 3471	丸卿	7 1222	藤原卿	萬左注 「右七首者藤原卿作」。「藤原卿」を藤原麻呂と判断したか / 萬の排列、1218・1219・1220・1221・1222・1194・1195 と続く / 八II・IV
302	5 3472	人丸	7 1136	笠女郎	八II・IV
303	5 3506	かきの女郎	3 395	笠女郎	
304	5 3525	人丸	11 2406	人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」 / 八II・III

			六帖		萬葉集		備考	
No.	巻	番号	作者名	巻	番号	作者名		
305	5	3530	人丸	11	2405	人麻呂歌集	萬 2516 左注	【以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出】／八Ⅲ
306	6	3572	人丸	11	2475	人麻呂歌集	萬 2516 左注	【以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出】／八Ⅲ
307	6	3575	さかの女郎	4	594	笠女郎		
308	6	3593	人丸	11	2468	人麻呂歌集	萬 2516 左注	【以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出】／八Ⅲ
309	6	3617	やかもち	8	1496	大伴家持		
310	6	3618	やかもち	8	1448	大伴家持	後 199 に類歌	
311	6	3636	やかもち				萬 1622 に類歌 (作者は大伴田村大嬢)	
312	6	3637	やかもち	8	1565	大伴家持		
313	6	3638	ゆはらの大君	8	1618	湯原王	家 223	
314	6	3639	人丸				古 211 / 拾 1119 / 新 28 / 人Ⅱ 87・Ⅲ 173	
315	6	3647	ゆはらの大君	2	120	弓削皇子		
316	6	3648	大どものさかの上女郎	8	1560	大伴坂上郎女		
317	6	3693	かなむら	8	1533	笠金村		
318	6	3709	ひおきのなかつかむすめ	8	1564	日置長枝娘		
319	6	3710	いしかはのひろなり	8	1601	石川広成		
320	6	3711	人丸	7	1121		萬 1119 左注	【右二首柿本朝臣人麻呂之歌集出】
321	6	3791	やかもち	16	3837	右兵衛	某かは不明	
322	6	3811	おほとものかたみ	4	697	大伴像見		
323	6	3824	人丸	7	1249	人麻呂歌集	萬 1250 左注	【右四首柿本朝臣人麻呂之歌集出】／八Ⅲ
324	6	3827	人丸	7	1352		人Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ	
325	6	3834	人丸	11	2504	人麻呂歌集	萬 2516 左注	【以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出】／八Ⅲ
326	6	3861	左大臣たちはなのもろへ	20	4455	葛城王	葛城王は橘諸兄の旧名	
327	6	3862	命婦	20	4456	薩妙観命婦		
328	6	3865	おほとものかまる	3	407	大伴駿河麻呂		
329	6	3866	するか丸	14	3576	東歌	六の前歌、萬の作者は大伴駿河麻呂	
330	6	3870	左大臣もろえ	19	4270	橘諸兄	萬左注	【右一首、左大臣橘卿】
331	6	3887	みまかりの内大臣	2	94	藤原鎌足		

六帖			萬葉集			備考
No.	巻	番号	作者名	巻	番号	作者名
332	6	3894	やかもち	8	1630	大伴家持
333	6	3898	人丸			
334	6	3899	むらまつ	8	1578	安倍虫麻呂
335	6	3900	あめのみかと	8	1540	天皇(聖武天皇)
336	6	3904	ほつみの王子	8	1514	穗積皇子
337	6	4089	人丸	10	2194	
338	6	4113	人丸			
339	6	4116	やかもち	19	4291	大伴家持
340	6	4145	やかもち	8	1656	大伴坂上郎女
341	6	4211	人丸			人Ⅱ・26・Ⅳ97。Ⅲ228・229に類歌あり
342	6	4212	おなじ人(人丸)			古69／人Ⅱ25・Ⅳ110に類歌あり
343	6	4236	人丸			人Ⅰ171・Ⅱ27・Ⅲ90
344	6	4237	あか人	8	1471	山部赤人
345	6	4254	やかもち	8	1508	大伴家持
346	6	4258	たかはしのやす丸	6	1027	豊島采女
347	6	4261	人丸	7	1099	
348	6	4272	やかもち	19	4140	大伴家持
349	6	4280	人丸	9	1773	人麻呂歌集
350	6	4300	やかもち	19	4152	大伴家持
351	6	4301	おなじ(やかもち)	20	4481	大伴家持
352	6	4309	人丸	9	1694	人麻呂歌集
353	6	4326	やかもち	19	4143	大伴家持
354	6	4327	おなじ(やかもち)	19	4159	大伴家持
355	6	4328	おなじ(やかもち)	10	1867	
356	6	4353	あかひと	6	919	山部赤人
357	6	4354	人丸	11	2768	

六帖			萬葉集			備考
No.	巻	番号	作者名	巻	番号	作者名
358	6	4356	人丸三首			
359	6	4357	(人丸三首)			古 210
360	6	4358	(人丸三首)	10	2134	人Ⅱ 150・Ⅲ 178・Ⅳ 113
361	6	4360	やかもち	8	1566	人Ⅰ・Ⅱ
362	6	4376	人まろ	10	2128	永青文庫本「人丸」/人Ⅰ・Ⅱ
363	6	4384	あかひと二首	8	1431	山部赤人
364	6	4385	(あかひと二首)	10	1820	人Ⅲ
365	6	4414	おはたのひろせ	8	1468	小治田広瀬王
366	6	4417	大伴 大納言	8	1473	大伴旅人
367	6	4419	おほとものよなは	8	1499	大伴四繩
368	6	4421	くめのくろなは	19	4203	久米広繩
369	6	4459	おほとものさかの上郎女	4	526	大伴郎女
370	6	4460	おほともの女らう	4	618	大神女郎
371	6	4463	あか人	10	1828	
372	6	4464	おほとものさかの上郎女	8	1447	大伴坂上郎女
373	6	4467	王子	8	1419	鏡王女